

記者発表（配付資料）				
月／日 曜日	担当課（室） 係名	電 話	発表者名 （担当副課長）	その他 配付先
12月3日 （木）	義務教育課 初等・中学校教育班	内線 5721 ダイヤル 362-9429	課長 村田 かわり （大久保 拓哉）	なし

## 小・中学校における新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査結果

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業により、児童生徒は自宅で多くの時間を過ごすことになった。小・中学校においては、定期的な家庭訪問や電話連絡、学習課題の配布、教育委員会や学校による動画配信等により、心のケアや学習支援を行ったものの、生活面や学習面の影響を危惧する指摘もある。

長期間にわたる新型コロナウイルスへの対応が想定される中で、感染症が児童生徒にどのような影響を与えているかを検証し、今後の教育に生かすために調査を実施する。

#### (2) 調査協力校

- ・調査協力校数 小学校50校 中学校50校 計100校
- ・抽出方法 各市町小学校1校、中学校1校 ※神戸市を除く  
（次の自治体は2校ずつ抽出 尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・明石市・加古川市・高砂市・姫路市）

#### (3) 調査対象学年・調査内容

- ・小学校（5～6年）：児童質問紙、教科に関する調査（国語、算数）
  - ・中学校（1～3年）：生徒質問紙、教科に関する調査（国語、数学）
- ※小学校45分、中学校50分の中で、両方の調査を実施

#### (4) 調査日

令和2年9月7日（月）～18日（金）の中で、調査協力校が設定

#### (5) 調査対象者

	質問紙調査	国語	算数・数学
小学校5年生	2,683	1,453	1,466
小学校6年生	2,818	1,465	1,462
小学校 小計	5,501	2,918	2,928
中学校1年生	3,152	1,611	1,607
中学校2年生	3,086	1,565	1,578
中学校3年生	2,998	1,523	1,541
中学校 小計	9,236	4,699	4,726
合 計	14,737	7,617	7,654

※同じクラスで2教科を実施した学校：小学校9校、中学校2校

## 2 調査の内容

### (1) 質問紙調査（小学校、中学校ともに質問項目は同じ）

質問数 27 項目（小学校 6 年生、中学校 3 年生のみ 32 項目）

大項目	小項目
① 臨時休業中の家庭での生活について	13 項目
② 臨時休業となり、残念に思ったことについて	4 項目
③ 夏休みが短くなって、学校に行く日が多くなったことについて	3 項目
④ 調査実施時の学校生活について	3 項目
⑤ 3月の臨時休業開始から、これまでを振り返って思うことについて	4 項目
⑥ サンテレビの学習支援番組について （小学校 6 年生、中学校 3 年生のみ実施）	5 項目

### (2) 教科に関する調査

児童生徒の学力状況を比較分析するため、原則として、平成 27 年度に実施した「ひょうごつまずき状況調査」と同じ問題としたが、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮して、一部で問題の差し替えや削除を行った。

#### ① 国語

小学校 5～6 年生、中学校 1～3 年生は、それぞれ同一の問題で実施

#### ② 算数・数学

設問により、実施する学年を以下のように設定して実施

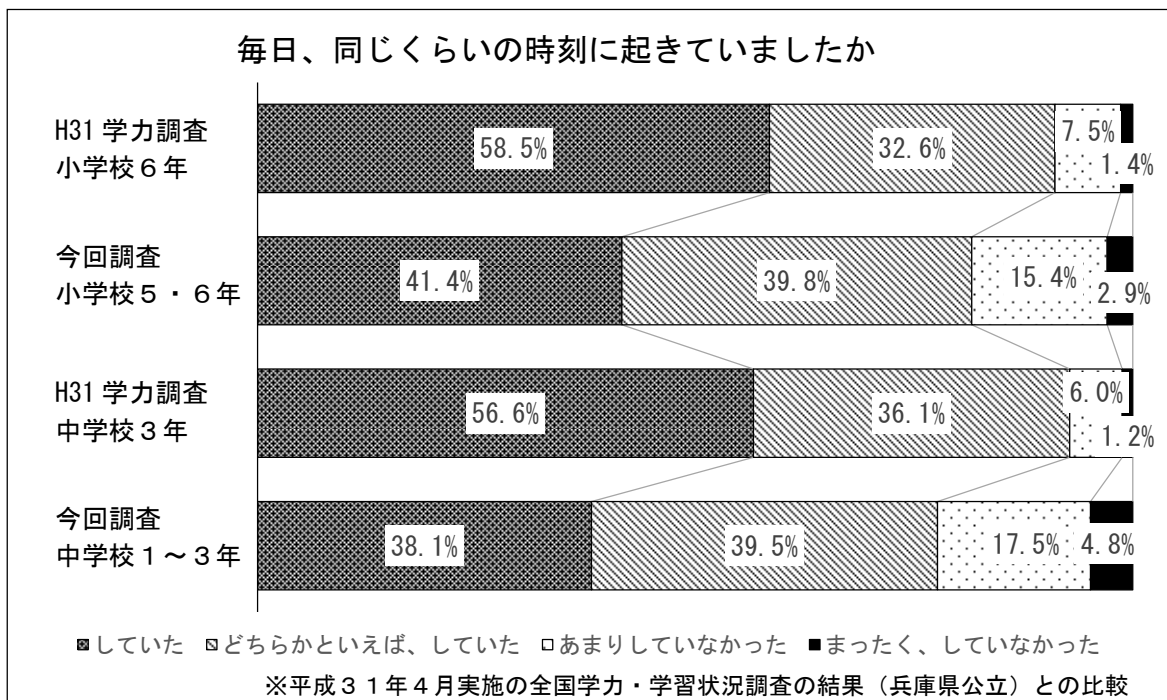
		設問番号															
小 5	1 (3)		2		3		4										
小 6	1 (1) (2)		1 (3)		2	3 (1)	3 (2) (3)	4	5	6	7						
中 1		1 (3)	1 (4)								8	9					
中 2											8						
中 3								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

### 3 質問紙調査に見られる児童生徒の状況

- ・ 基本的な生活や学習が不規則となっていた児童生徒が一定数いたことから、規則正しい生活や学力の定着のため、学校が果たしている役割は大きい。
- ・ 自主的に学習に取り組もうとする態度を身に付けさせるため、指導方法の工夫・改善に努め、よりよい授業づくりを進めることが大切である。

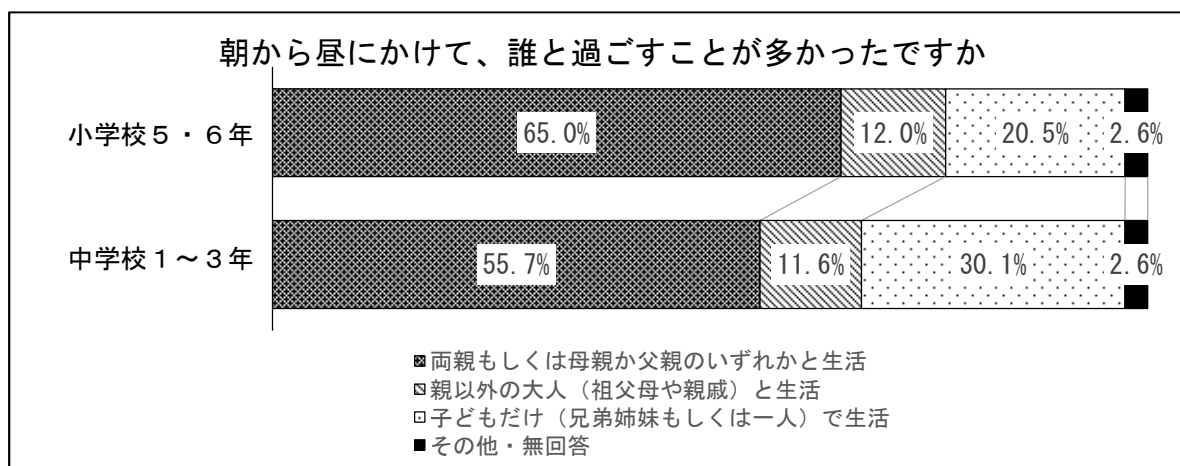
#### (1) 臨時休業中の基本的な生活習慣

- ・ 基本的な生活習慣の中で、特に起床時刻が不規則になっていた。



#### (2) 臨時休業中の家庭状況

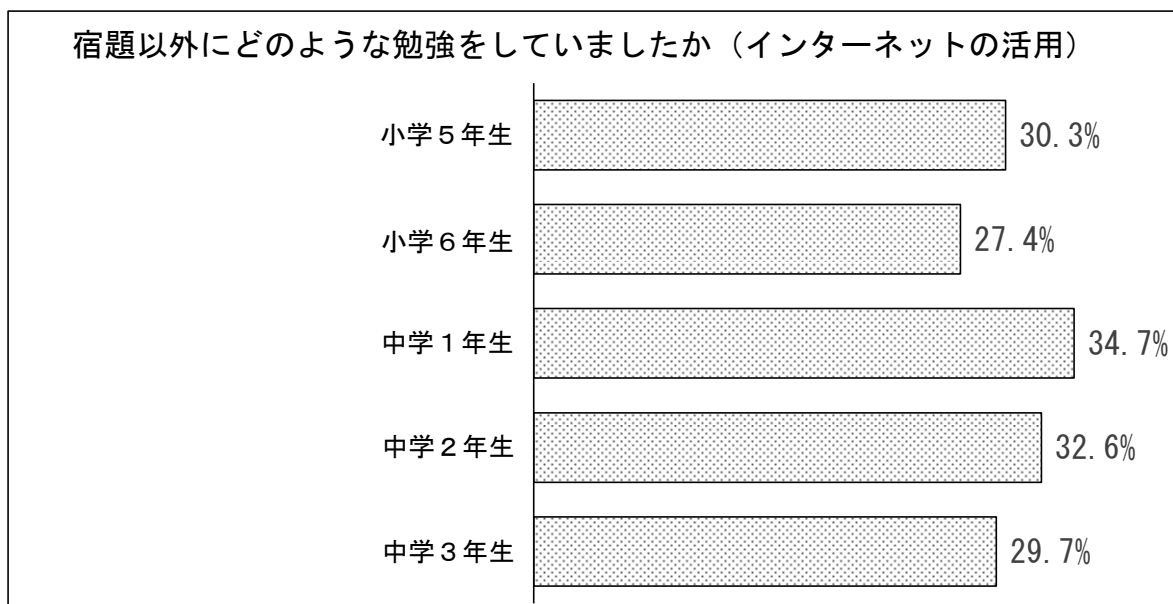
- ・ 家庭内で子どもだけ（兄弟姉妹もしくは一人）で生活していたのは、小学生の約2割、中学生の約3割だった。



児童生徒が、自ら学習に取り組もうとする「学びに向かう力」を育成する必要がある。

### (3) 臨時休業中の学習状況

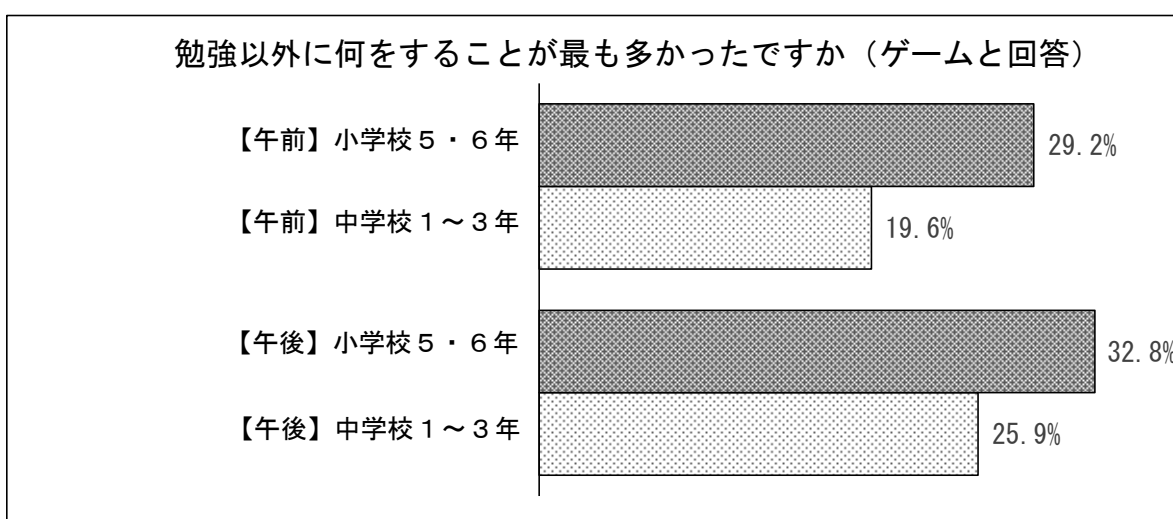
- ・インターネット上の学習動画、学習ソフト、学習アプリを使って勉強していた児童生徒は、小学生、中学生ともに、約3割であり、学年により、大きな違いはなかった。



インターネット上の学習コンテンツを充実させる必要がある。

### (4) 臨時休業中の家庭での過ごし方

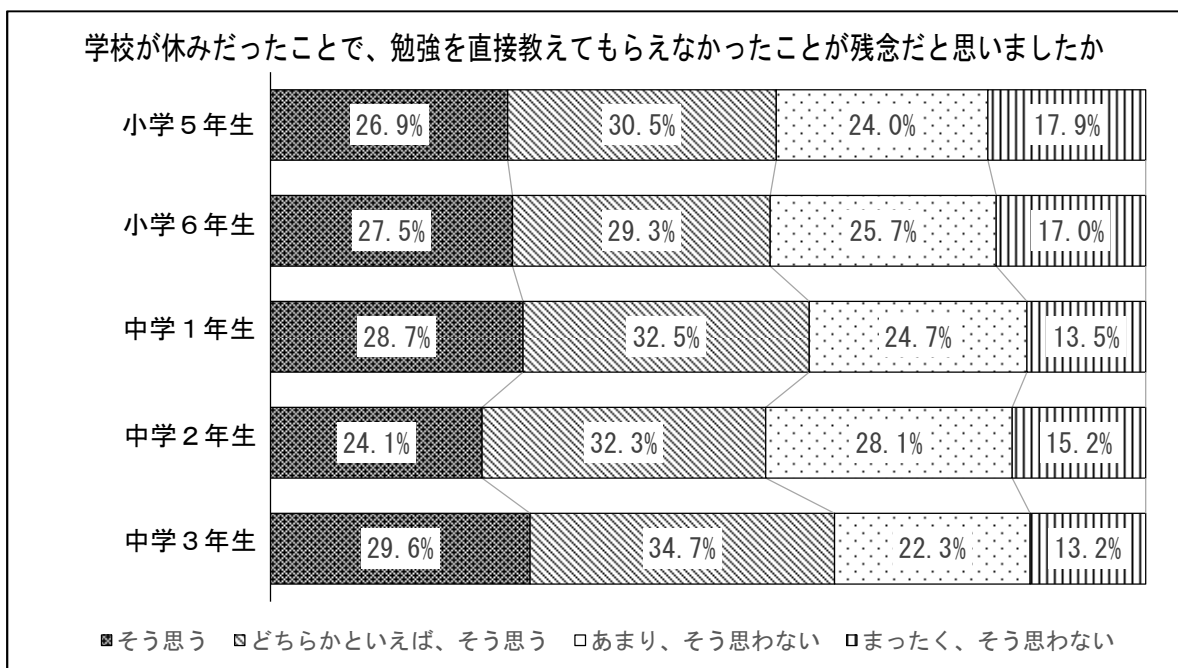
- ・勉強以外の時間はゲームをして過ごしている割合が、小学生、中学生ともに最も多く、午前より午後の方が多い傾向にある。



児童生徒が、自分で一日のスケジュールを立てて、それを実行していこうとする態度を育成する必要がある。

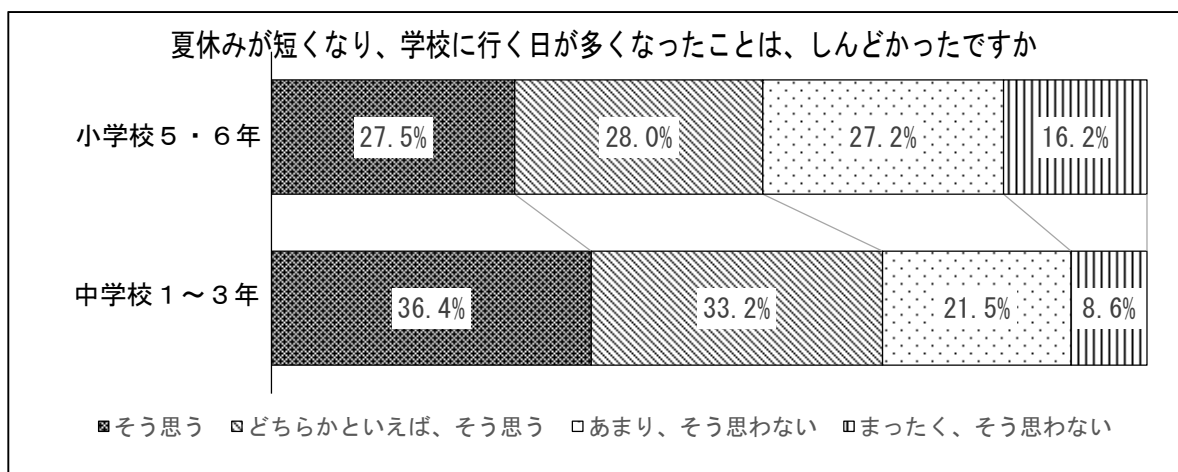
(5) 臨時休業となり、残念に思っていたこと

- ・入学後、勉強の機会がなかった中学1年生と進路を控えた中学3年生が、勉強を直接教えてもらえないことを残念に思っていた割合が多い。



(6) 夏休みが短くなり、学校に行く日が多くなったことを振り返って思うこと

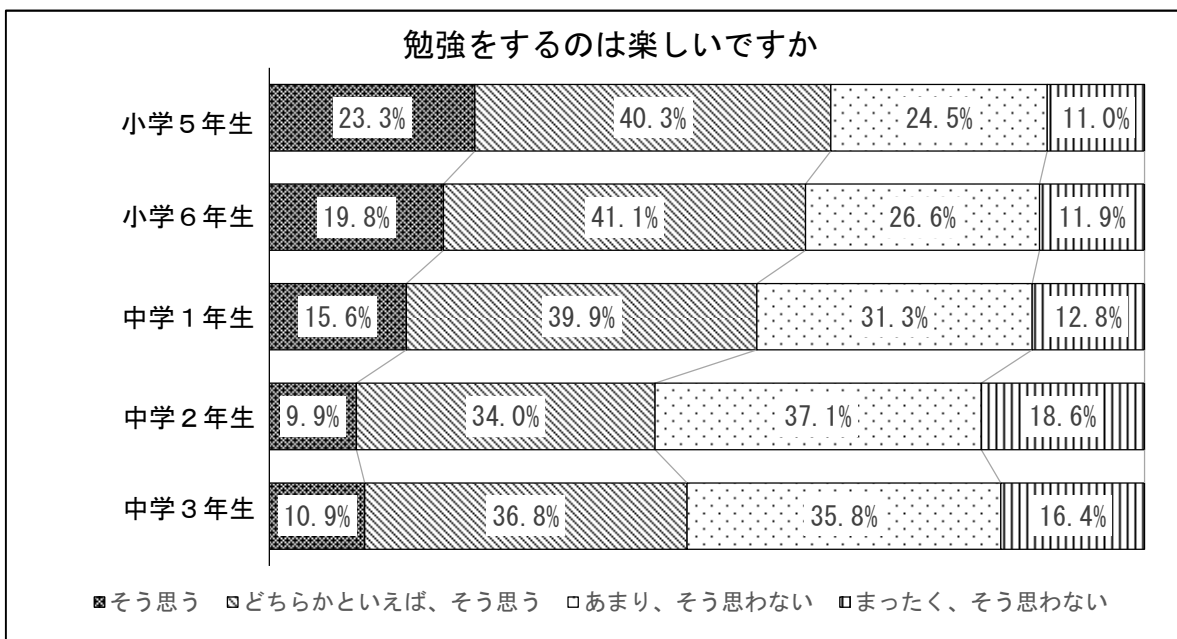
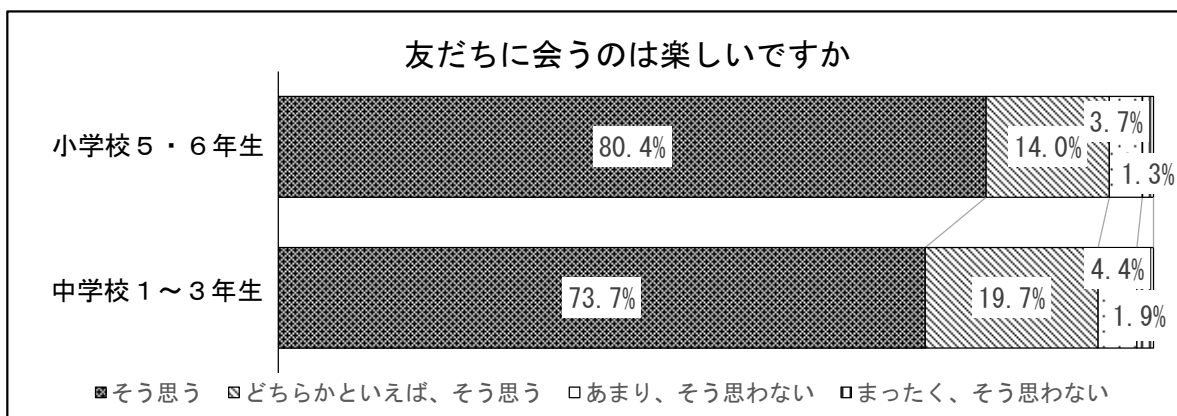
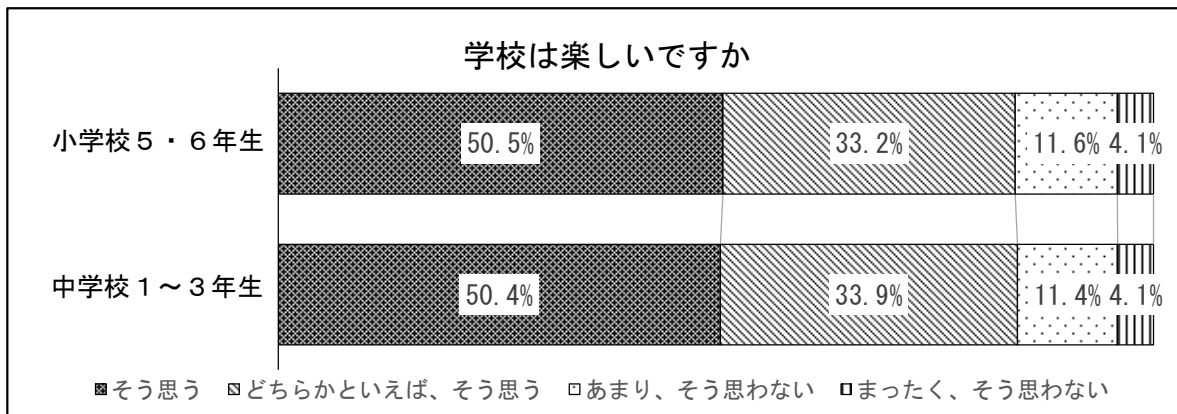
- ・小学生より中学生の方が、夏休みが短くなり、学校に行く日が多くなったことに疲れを感じている。



小学生に比べて、中学生に対して、学習面のフォローや心のケアの充実を図る必要がある。

(7) 今（調査時点の9月）の学校生活について、思うこと

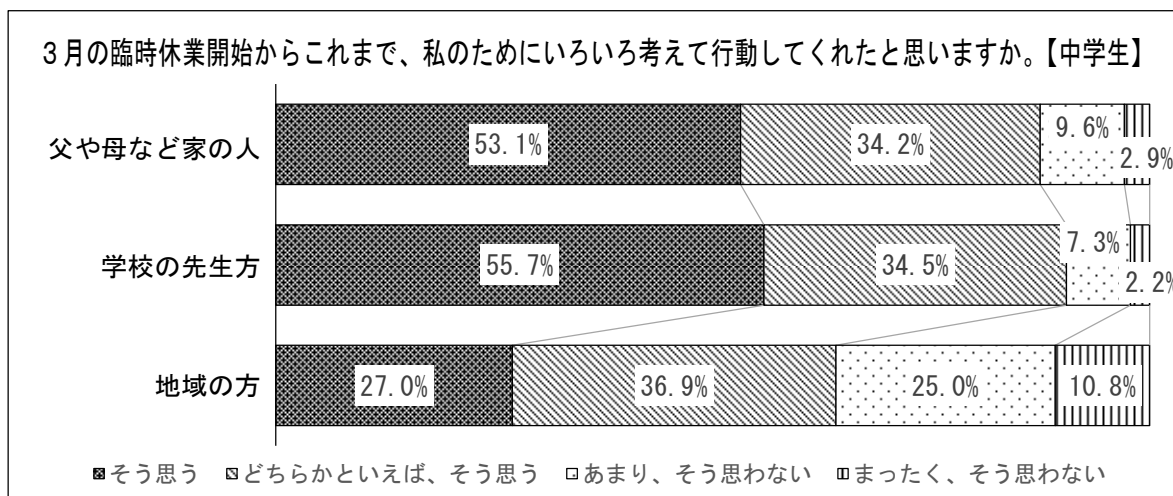
- ・多くの児童生徒が「学校は楽しい」、「友だちに会うのが楽しい」と思っている。
- ・「勉強をするのが楽しい」と思う児童生徒は、学年が上がるにつれて、減少する傾向がある。



感染予防に努めながら、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを進める必要がある。

(8) 臨時休業が始まった3月から、今までを振り返って思うこと

- ・ これまでを振り返って、多くの中学生は、家の人や学校の先生に感謝の念を抱いているが、地域の方に対する割合は、低くなっている。



今後の感染拡大に備え、学校と地域との連携を図る取組を充実させる必要がある。

#### 4 教科に関する調査結果

- ・平成27年度調査（前回調査）との比較では、
  - ①臨時休業による学力への大きな影響は見られなかったが、前回調査と同じ傾向の問題に学習面のつまずきが見られた。
  - ②小学校5年国語、小学校6年算数は前回調査を下回る結果となった一方で、中学校2年数学では前回調査を上回る結果となっており、各教科の調査結果に応じた指導が必要である。
- ・今後、質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計を行うなどして、臨時休業中の児童生徒の生活や意識と学力との相関等について、分析する。

##### (1) 調査の概要

###### ①国語

###### ア 小学校

学年	問題数（問）	児童数（人）	平均正答数（問）	平均正答率（%）
5年	13	1,453	7.7	59.1
6年		1,465	8.9	68.7

###### イ 中学校

学年	問題数（問）	児童数（人）	平均正答数（問）	平均正答率（%）
1年	19	1,611	9.6	50.4
2年		1,565	10.5	55.5
3年		1,523	11.6	61.0

###### ②算数・数学

###### ア 小学校

学年	問題数（問）	児童数（人）	平均正答数（問）	平均正答率（%）
5年	11	1,466	6.6	59.9
6年	15	1,462	8.2	54.3

###### イ 中学校

学年	問題数（問）	児童数（人）	平均正答数（問）	平均正答率（%）
1年	25	1,607	12.7	50.6
2年	26	1,578	13.7	52.7
3年	24	1,541	14.0	58.3

##### ※設問別の解答状況

同じ問題を複数の学年で解答した問題の解答状況を以下のA～Cに分類

A 学年が上がるにつれて、正答率が上がった問題

B 学年が上がるにつれて、正答率が下がった問題

C どちらとも言えない問題（中1～中3の中で、中2が最も正答率が低い等）

教科	対象問題数	上がった問題 (A)	下がった問題 (B)	どちらとも言えない問題 (C)
国語	32	31	0	1
算数・数学	39	29	9	1



(2)平成27年度実施「ひょうごつまずき状況調査」(前回調査)との比較

★区分について

- ・前回調査と比較して、該当学年のそれぞれの問題の平均正答率が  
上回った問題：+5.1ポイント以上  
同程度の問題：+5.0ポイント～-5.0ポイント  
下回った問題：-5.1ポイント以下

①国語

ア 小学校

	共通問題数	上回った問題	同程度の問題	下回った問題
5年	13	0	3	10
6年	13	0	7	6

イ 中学校

	共通問題数	上回った問題	同程度の問題	下回った問題
1年	19	3	13	3
2年	19	5	11	3
3年	19	5	13	1

②算数・数学

ア 小学校

	共通問題数	上回った問題	同程度の問題	下回った問題
5年	6	1	4	1
6年	15	0	7	8

イ 中学校

	共通問題数	上回った問題	同程度の問題	下回った問題
1年	25	0	23	2
2年	24	14	9	1
3年	24	3	19	2

- ・前回調査との比較では、中学校より小学校で課題が見られている。
- ・臨時休業による授業の遅れを取り戻すため、既習事項の確認に十分な時間をとることができていないことが原因の一つとして考えられる。
- ・児童生徒の学習面のつまずきを解消するため、既習事項の定着状況を十分把握した上で、「ひょうごつまずきポイント指導事例集」を活用するなどして、指導内容を系統的な視点でとらえる必要がある。

(3) 前回調査に引き続き、今回調査でも特に課題が見られた問題【別添資料】

①国語

ア 小学校

文の意味を考えながら、接続語を使って一文を二文に分けて書くこと

イ 中学校

意見文を直した意図について、条件を踏まえて、記述すること

②算数・数学

ア 小学校

2つの畑の面積の関係を表している図を選ぶこと

イ 中学校

立方体を切り取った断面部分の三角形の形を選ぶこと

5 今後の対応

○質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計を行うなどして、臨時休業中の児童生徒の生活や意識と学力との相関等について、分析する。

**【各学校における対応】**

- ・質問紙調査の結果をもとに、児童生徒の心のケアに努めながら、自ら学習に取り組もうとする「学びに向かう力」を育成する授業づくりを進める。
- ・教科に関する調査結果をもとに、既習事項の定着状況を十分把握し、児童生徒の学習面のつまずきを解消する取組の充実を図る。

**【県教育委員会における対応】**

- ・明らかになった課題等については、学識経験者や学校関係者等で組織する学力向上実践推進委員会で、方策を検討する。
- ・今回の調査結果と指導方法の工夫・改善に向けた方策等をまとめた指導資料を作成し、学力向上シンポジウムにおいて、周知を図る。

(学力向上シンポジウム：令和3年1月28日(木) 神戸市立東灘区民センター)

2 五年生の原田さんは、児童会役員選挙に立候補するための演説を考えています。次の【演説の下書き】を読んで、あとの問に答えましょう。

【演説の下書き】

ぼくが児童会役員に立候補する理由は、二つあります。

一つは、全校生が元気にあそびをする学校にしたいからです。でも、今、学校ではあそびが進んでいきません。ア、ぼくは、全校生であそび運動に取り組み、今よりも良い学校にしたいと考えています。

イ、学年がちがっても、みんなが仲よくなってほしいからです。以前に、ちがう学年の人の顔や名前が分からないという意見を聞いたことがあるので、ぼくは、集会を計画して、楽しくすごす時間を作りたいと思います。

ウ、ぼくは、児童会役員としてがんばりますので、よろしくお願いします。

1 【演説の下書き】の中にあるア・イ・ウに入るふさわしい言葉を、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 以上のように
- 2 なぜなら
- 3 もう一つは
- 4 そこで
- 5 反対に

2 原田さんは、読み直したあと、——部を、二つの文に分けて書き直すことにしました。「だから」を使って二つの文に分けたときの前の文の終わりの五文字と後の文の始めの五文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

以前に、（中略）

**があります。** **だから、** **ぼくは、集**

**(ありました)**

（中略）時間を作りたいと思います。

正答率 (%)	無回答率 (%)		H27 調査 (%)	
	5年	6年	5年	6年
14.7	22.4	14.7	23.6	31.7

三 最後に山本さんは自分でもう一度読み直し、【校正が入った下書き】のように、㊸㊹の二か所を直しました。その意図としてもっとも適切なものをそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

- 1 難しい言葉をけずることで、読み手が一読して理解できるようにした。
- 2 自分とは異なる意見にもふれて、伝えたいことを強く印象づけようとした。
- 3 読み手にはたらきかける表現を取り入れて、共感を得ようとした。
- 4 具体的な例を出すことで、あいまいな部分をより具体的にしようとした。

【校正が入った下書き】で校正（          部）を入れた部分は、「漫画はためになるからだ。」とする表現を「ためになる漫画もあるからだ。」にした方がより説得力があり適切だと指摘されて、書きかえました。なぜそちらの方がより適切だと考えたのでしょうか。次の文の            に十五字以上二十字以内（句読点をふくむ）で理由を答えましょう。

「ためになる漫画もあるからだ。」とすることで

た	め	に	な	る	漫	画	と	た	め
に	な	ら	な	い	漫	画			
あるとわかるから。（同じ意味の解答可）									

が

3	正答率（％）			無解答率（％）		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
二	15.3	16.7	21.8	16.9	16.4	14.1

H27 調査（％）			
3	1年	2年	3年
二	22.2	23.2	22.7

【校正が入った下書き】

私は、学校図書館に「漫画を置き続けるべきだ」と考える。

第一に、図書館の利用が増えるからだ。私は図書委員であるが、図書館に漫画を置くようになってから、図書の利用者数が増えた。漫画を読んだついでに普通の本を借りる人もいる。先週一週間で貸し出した本は五十冊であった。これは漫画を置く前の約二倍になる。これも、漫画を置いた効果だ。

ためになる漫画もあるからだ。

第二に、~~漫画はためになるからだ~~。私は今、『源氏物語』を漫画で読んでいる。登場人物が多く難しい話なので普通の本だと読む気にならないのに、漫画でならすらすら読むことができ、平安時代の華やかな文化や壮大さを感じることができた。

㊸ 手塚治虫さんの「火の鳥」などは

また、歴史ものだけでなく小説と同じように人間の生き方について考えさせられるものもある。このように、漫画から学ぶことはたくさんあります。

㊹ 漫画を置くと図書館の雰囲気が悪くなるという人もいますが、今あげたような学習に役立つ漫画だけを置けば問題にならないと思う。

以上の理由から、私は学校図書館に漫画を置き続けるべきだと考える。

二

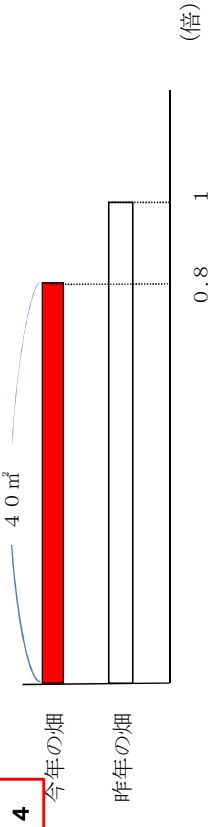
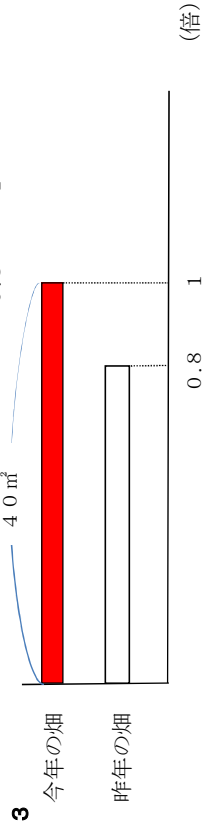
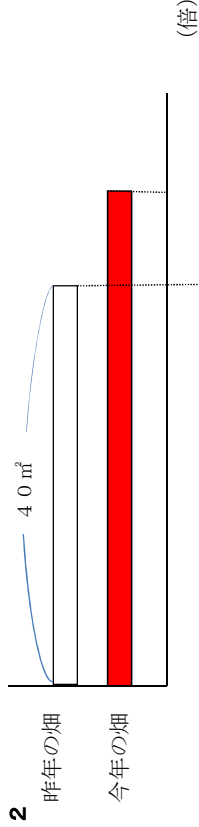
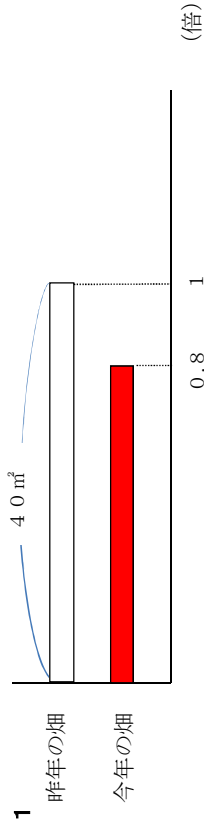
手順2としてグループで【山本さんの意見文の下書き】を読んで評価し、より説得力のある意見文にすることをしました。次の【校正が入った下書き】を読んで答えましょう。

【別添3】小学校算数

3

- (3) 今年の畑の面積は  $40 \text{ m}^2$  です。  
 今年の畑の面積は、昨年の畑の面積の  $0.8$  倍です。
- ① 今年の畑と昨年の畑の面積の関係を正しく表している図はどれですか。  
 下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

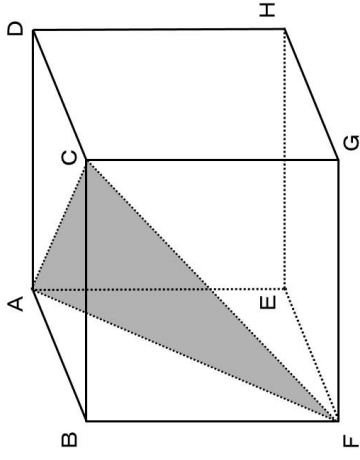
正答率 (%)	無解答率 (%)	H27 調査 (%)
41.9	0.7	49.3



【別添4】中学校数学

6

- (2) 下の図は立方体の見取図です。  
 この立方体の頂点 A C F で切り取った断面部分の面 A C F がどんな三角形になるか  
 について、下のアからエまでの中から正しいものを 1 つ選びなさい。



ア 正三角形

イ 直角三角形

ウ 二等辺三角形

エ 直角二等辺三角形

正答率 (%)	無解答率 (%)	H27 調査 (%)
14.6	2.0	16.0